

## 校長 村井 浩昭

吉田高校に赴任することが決まって、引越しが完了したあと、校門をくぐってみた。校舎の裏手には、見事な桜が小さな川沿いを埋め尽くし、陽気がぼかぼかと春爛漫で心地よい日和だった。はじめて吉田高校を訪れたのは、平成29年度、数学の南予地区研究会である。ちょうどそのときが吉田高校創立百周年の節目の年であった。玄関に入る前に目にした校訓の石碑に刻まれた自分と同じ姓の「村井保固」の文字、いただいた学校案内には吉田三傑の説明、このとき、「名字つながりだな」と感じたことが、今となっては不思議な縁と思わざるを得ない。学校に沿うように流れている小さな川が「国安川」ということを知ったのは、赴任した後だった。

坂村眞氏作詞の校歌には、「流れつきせぬ国安の古き歴史の川の辺に」と歌われ、寮は「国安寮」と名付けられている。そしてこの生徒会誌も「くにやす」である。国安川は、本校に寄り添いながらずっと吉田高校の歴史とともに刻んできたのだろう。「くにやす」は今回「55号」となる。「55」から、何か不思議な感覚が湧いてこないだろうか。私はこの「55号」の巻頭言を執筆するということにも不思議な縁を感じている。まず私は、

$$1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6 + 7 + 8 + 9 + 10 = 55 \text{ を思い浮かべた。}$$

$$1^2 + 2^2 + 3^2 + 4^2 + 5^2 = 55 \text{ にも気付く。}$$

球を上から一段目に1個、二段目に4個、三段目に9個、四段目に16個、五段目に25個と重ねていくと、ピラミッドのようになる。ピラミッドの形をした立体を正四角錐（せいしかくすい）というので、こういう成り立ちの数を四角錐数と呼ぶ。「55」は四角錐数である。フィボナッチ数列は「存じだろうか」。

1, 1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, 34, 55, 89, 144, 233, 377 … 最初と二番目に1を配置して、どの数も前2つの数を足した数という規則で並んでいる。ここにも「55」はお目見えする。不思議なことにこの数列は自然界に多く潜んでいる。例えば、ひまわりは花びらに囲まれるようにたくさんの種をつけるが、近くで見ると渦巻き状に美しく配置されている。ひまわりの円の中心から時計回りと反時計回りに種が配置をされていて、種をつないでできる線の数は必ず「時計回りが21本、反時計回りが34本」「時計回りが34本、反時計回りが55本」「時計回りが55本、反時計回りが89本」のいずれかとなる。それほど「55」は神秘的で整った数なのだ。

そんな数遊びのようなことは思いつかないという人は、ほかに何かないだろうか。「二〇二二ニューキャン新語・流行語大賞」（「現代用語の基礎知識」選）の年間大賞には史上最年少で三冠王に輝いたプロ野球ヤクルトスワロ

ーズの村上宗隆氏の活躍を表す「村神様」が選ばれた。村上氏の背番号は「55」。背番号「55」といえば松井秀喜氏を思い浮かべる人もいるだろうし、サッカー日本代表長友佑都氏にも「55」の時代がある。村上氏は元巨人の王貞治氏が持っていた日本選手のシーズン最多本塁打記録「55本」を更新して「56本」の記録を残した。なかなか「56号」が出なかった理由について、目標を「55」に設定していたためとインタビューで答えていたが、それほど「55」が驚異的な数であることを物語っている。「くにやす」創刊の昭和43年度（一九六八年度）頃という、日本は学生運動真ただ中で、若者が必死に世の中を変えようとしていた激動の時代であった。その年には、コント55号（秋本欽一・坂上二郎）というお笑い芸人が大人気となり、レギュラー番組が始まった。今年度55周年を迎えたウルトラマンシリーズ第二弾のウルトラセブンも放映中で、視聴者は、宇宙からの侵略者と自分を取り巻く困難とを照らし合わせ、打ち勝とうとする気持ちを持とうとしていたにちがいない。

易学、占星術と並ぶ占いに数秘術がある。ピタゴラスが創始者と言われているが、彼は万物の根源は数で、数の法則によって人の性格や欲求までも予知できると考えていた。心理学から発展したエンジェルナンバーという考え方もある。数秘術とエンジェルナンバーを組み合わせる占いもある。エンジェルナンバーで「55」は転換期の訪れを意味している。これまでの環境に別れを告げて新たな変化を柔軟に受け入れることで、明るい未来が訪れることを告げている。そう考えて振り返ってみると、今年度まさに明るい未来に向けての成果が各方面に表れている。県総体には8競技総勢88名が出場し、四国大会にも陸上競技部、弓道部、水泳競技から3名が出場した。夏の高校野球愛媛県大会では、ベスト8という輝かしい戦績を残した。また、ものづくりコンテスト木材加工部門で建築部が県大会、四国大会ともに1位、2位を独占し、全国大会でも入賞した。高文祭には、吹奏楽部、声楽部、美術部が出場し、声楽部は特別賞を受賞している。十進法の「55」は七進法で「106」という表記となる。来年度吉田高校は創立106年目を迎える。私たちは106年目の歴史に向けて、今までの教訓を踏まえながら更に前進し、新たな未来を築いていく。

卒業生の皆さん、卒業おめでとう。どの学年よりも制約の多い三年間を耐えながらも工夫して充実した高校生活を過ごしたことだろう。きっと、新生活で明るい未来が訪れる、そう信じて努力を続けてほしい。ウルトラセブンがウルトラマンシリーズの中で他と異なる点の一つに、カプセル怪獣の存在がある。何らかの理由でセブンは変身できない場合に、代わって怪獣や宇宙人等と戦う正義の怪獣のことだ。これからは、変化が激しく予測困難な未来に他者と協働して解決することが求められる。生きていく中で、他者を助け、他者に助けられるようなそんな仲間を作り、信頼関係を築きながら人生を歩んでほしい。